

■湖東白ゆり保育園

申出日：2019年（H31）4月5日（金）

申出人：2歳児 女児母

申出方法：同日朝9時に主任が手紙を預かる。

**内容：**4/2の迎え時が丁度給食時間で、スプーンを落とした子がいたが、職員が洗わずに無言で子どもに渡している姿を見かけた。その際に椅子をグイッと乱暴にしまう姿も見られたため我が子が嫌な思いをしていないか心配になった。

**対応：**すぐに主担任と話をした所、この対応をしたのは主担任であった、と本人より申し出があった。昼にすみれ組の担任全員を呼び話をする。クラス担任全員に周知したのち、同日のお迎え時に園長、主任、主担任が謝罪をする。母は辛かった思いを涙を流して表していた。謝罪に対して「すぐに対応して下さり、ありがとうございました。」との事であった。今後このような事がないよう、4/25の連絡会にて全職員に伝えていった。

■湖東白ゆり保育園

申出日：2019年（H31）4月17日（水）

申出人：2歳児 女児母

申出方法：同日4時頃お迎え時に主任と話をする。

**内容**：同日朝の送迎時にクラスへ本児を送った所、クラスの男児が他児に噛みつき、担任の先生に注意を受けていた。その際に噛んだことの原因を聞いたり、噛まれた子に謝罪をしたりしている中で、それを見ていた女児に何をしているかを聞かれ、男児に対し「いけない子だから。」と伝えたとの事。それを聞いていた母は本児の母が聞いたら辛いだろうと感じた、と主任に相談をした。また、その際に他クラスの職員が「小さい子の部屋へ連れて行く」と本児を連れて行った。クラス担任が3人いたのになぜであったか、小さい子のクラスへ行く事は本児にとって辛い事ではないか、との内容であった。

**職員の話**：同日夕方、クラス担任全員と他クラスの関わった職員を呼び園長と話をする。8時半ころの出来事で、担任1人は噛まれた子の背中を冷やしていた。2人は出勤直後で状況を把握できていなかった為、8時から出勤している他クラスの職員がが対応をした。1歳児クラスへ連れて行ったのは、落ち着いて話をする為であり、「小さい子の部屋へ」と云うわけではなかったが、クラスへ戻るタイミングであった為、誤解を招いたとの事。男児に対し「いけない子」と言った職員は似たようなニュアンスで声をかけたとのことであった。

**対応**：申し出者には上記の旨を説明した上で、噛んだ行為は「いけない行為」だが、本児は「いけない子」ではない事、今年度の園内研修のテーマが「肯定的な言葉がけ」であり、園全体で肯定的な関わりで取り組んでいく旨を伝えた。母も笑顔でうなずきながら、「私も”ダメ”と言ってしまう事がありますから」と笑顔を返してくれた。

今後このような事がないように、4/25の連絡会にて全職員にも周知していった。